

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
理事長	山下 静也
診療局参与	永井 義幸
部 長 兼心臓・血管センター副センター長	習田 龍
部 長 兼りんくうウェルネスケア研究センター長 兼健康管理センター副センター長 兼産業医	増田 大作
副部長	玉置 俊介
医 長	村木 良輔
医 長	義間 昌平
医 員	宮脇 大(4月退職)
医 員	阿部 誠
非常勤医員	迫 恒志

—概要—

当院は、救命救急センター、母子医療センター、感染症センターなどの高度医療センターが集積する三次救急医療センターである。当循環器内科では、循環器領域の知識のみならず、他科に関連した総合的な幅広い領域の知識が要求され、日々、各センターから、救急、重症、特殊病態の症例を紹介頂き、他科と協調して診療にあたっている。

—実績—

心臓カテーテル検査	739 件
冠動脈カテーテル治療	348 件
急性冠症候群	139 件
急性心筋梗塞	88 件
ペースメーカー	65 件
リードレスペースメーカー	9 件
植え込み型除細動器 (ICD)	7 件
両室ペースメーカー (CRT-P)	0 件
除細動機能付両室ペースメーカー (CRT-D)	10 件
心筋焼灼術	66 件
下肢動脈カテーテル治療	40 件
心臓CT検査	547 件
経胸壁心臓エコー検査	5,839 件
経食道心臓エコー検査	123 件
心臓核医学検査	183 件
血管内超音波検査	394 件

(2021/1/1～2021/12/31)

—今年度の成果と反省点—

- ・2020年初春より、COVID-19への感染予防対策を適切に行った。当初、臨床上、治療経験のないウイルス疾患への対応に難渋したが、例年どおり、循環器診療を行い、地域医療に貢献した。
- ・近隣の病診連携医からの要望の多い、心房細動に対するアブレーションを含む、不整脈アブレーションも積極的に行い、症例数も増加させ、地域医療に貢献した。

- ・不整脈に対する植込みデバイスに関し、従来から行っているペースメーカーの他、植込み型除細動器、心臓再同期ペースメーカーなどのデバイスに習熟し、適切に植込みを行い、地域医療に貢献した。
- ・近年増えている末梢動脈疾患(閉塞性動脈硬化症)に対するカテーテル治療も積極的にを行い、地域医療に貢献した。
- ・COVID-19蔓延に加え、三次救急重症循環器疾患に対して、高度画像診断機器(320列CT:2台、80列CT:1台、3Tと1.5TのMRI、放射線アイントープ)を多数保有している当院の利点を最大に生かし、速やかに診断し、治療に結びつけることができた。
- ・COVID-19蔓延の状態にはあるが、例年どおり、国内、国外の学会に臨床研究に関する報告を多数行った。特に今年度は山下理事長が主催した国際動脈硬化学会が京都で開催され成功裏のもと修了した。
- ・山下理事長の専門領域である脂質異常症とそれに関連する治療困難例など多数の患者を地域の健康診断及び他院から御紹介いただき、適切な診断と治療介入を行うことで地域医療及び地域の予防に貢献した。

—来年度への抱負—

昨年同様、COVID-19に対する感染予防対策を十分に行い、重症三次救急例や(近隣の)病診連携医からの紹介例に適切に対応し、地域医療に貢献したい。加えて、臨床研究を継続し、医療の発展に尽力したい。